

2018年8月8日

チーム代表者 各位

京都フットボール連盟
運営委員長 山下 和良

災害時の試合をする、しないの判断について

平素は当連盟の事業にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の異常気象により、あらゆる災害がいたるところで発生または発生してもおかしくない状況であります。

地震、津波、台風、雷、竜巻、集中豪雨、豪雪、高温などにより過去に経験したことのない自然災害が各地で発生し、道路の通行止め、公共交通機関の運行停止等が頻繁に起きることに我々も予測できない状況下にあります。

今シーズンも数試合の中止があり、チームからのご意見ご要望及び下記状況を踏まえ、今後の対応について運営委員会にて再検討した結果を報告致します。

- ・試合会場によって天候等の状況に違いがある。
- ・選手、審判個々の交通事情等に違いがある。
- ・取得グラウンド側の諸事情に違いがある。
- ・グラウンド確保がタイトである。

結果、これらの現実を踏まえ、今後も従来通り、身の安全を第一に考えて、原則、「当日試合会場に集合して両チーム代表と審判の3者で協議の上、自主判断で試合をする、しないを決定する」ことを方針と致します。

但し、集合時間に天候や交通事情等により、集合できない状況なら前もって電話等で3者にて協議相談の上、判断することも可とします。

いずれも結果報告連絡等は連盟宛です。ご協力の程よろしく申し上げます。

以上